



全国棚田(千枚田)連絡協議会

棚田ライターズ

第23号 2001.8.31
(季刊・年4回発行)

発行／全国棚田(千枚田)連絡協議会

編集／ふるきやらネットワーク

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-29-202

TEL 03-5389-9937/FAX 03-5389-0078

<http://www.yukidaruma.or.jp/tanada/index.htm>



鳥取県岩美町「山菜定食」(1500円)
「山菜定食」(1500円)

棚田のムラで
映画を撮る

ふるさとやらばん脚本演出

石塚克彦

いま信州・飯山市福島の棚田地域に来ている。ミュージカル映画の撮影のためである。

かつて少年たちは、13歳になると十三参りをすませ、ムラ祭りの席に親父の名代として出ることを許され、そこで酒を教わり、祭りの下働きをやらされ、社会へのデビューを体験するのであった。

いま少年たちは、どこで、どんなふうに社会と出会い、社会の一員として初めての参加を体験するのだろうか。そんなことを考えながら、映画の準備を進めている。

飯山の棚田の上段から見おろすと、ずっと重なって続く棚田の向こうに、キラキラと光る千曲川が蛇行し、その向こうに黒姫や妙高の山脈が見える。そして街に下りてゆくと、昔からずっと続いている生活と、現代の生活が混在している商店街、それが今回の映画の舞台である。

私が初めて映画を撮るという話が山田洋次さんに伝わって会おうということになり、面白くて役立つ話を沢山聞いた。その中で映画のシナリオってどの位書くの?と言ったら、200枚から250枚が目安じゃ無いですかと山田さんから聞いた。ところが映画でいう1枚はペラ(200字詰め)であり、私がやっている芝居の世界での1枚は400字詰めなので、私はドジなことに倍の長さのシナリオを書いてしまった。その直しに手間どってしまい、撮影の日程が遅れ、いま四苦八苦している。

いずれにしても、棚田の中で100名のダンサーが踊る稲作のミュージカルシーンをメインに撮ろうとしている。棚田サミットや棚田学会がそれぞれのところから棚田への関心を拡めようとしている現在、私の映画も役割を果たせればと願っている。

特集

たずねてみたい！

棚田の集落が運営する 地域の民宿・施設

宮崎県五ヶ瀬町 宮之原
ふれあいの里（宿泊・交流施設）

所在地：宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町
大字三力所
問：ふれあいの里
TEL：0982-82-1544



管理を行う米田昭午さんと婦人会の方々。そして若者たちは、8月6～8日まで合宿に訪れていた山口県早鞆高校陸上部のみなさん。

地元、行政、農協、
生協がつながって

木造2階建て山小屋風の宿泊・交流施設「ふれあいの里」は、町（五ヶ瀬町）、地元農協、宮崎県民生協が出資して1991年に建てられた。管理運営は、地元宮之原むらづくりグループを基盤とした管理組合。住民、行政、農協、生協の4者が連携してつくりあげた施設は全国でも珍しい。こうした背景には、宮之原集落の農家が、農協と協力して生協と信頼ある提携を築いてきたことにある。85年から野菜や「五ヶ瀬米」（棚田米）の産直を生協とを行い、交流が育くまれた。交流は、地元の夜神楽見学にまで発展し、宿泊施設の必要性が叫ばれるようになつた。

オープンして10年。1泊3000円（生協・農協会員1800円）、食事別。料金は10年間変わらない。これまで一銭も赤字は出でていない。しかも現在、町内にできた運動公園へ合宿に訪れる高校生や冬のスキー場利用客もあり、部屋の数が足

りず増設が求められるほどの人気ぶりだ。

心地よさからか、一度来たお客様は必ずまた来るという。

当時4者をつなぎ、まとめてきた管理者の米田昭午さんは、10年継続の背景をこう話す。「汗を流した分、報いがあり、楽しみを生む。地元側は、そんな仕組み

熊本県水俣市 久木野地区
愛林館（加工・食堂・体験宿泊施設）

所在地：〒802-0281 熊本県水俣市
久木野1071
問：愛林館
TEL：0966-69-0485

地区振興会が運営、
館長は全国公募で

熊本県水俣市久木野地区は、水俣市の山間部に位置し、約450戸、人口1200人の地域だ。1988年、この地を通っていた鉄道が廃線となり、駅の跡地を利用して、加工や都市交流の拠点「愛林館」が1994年9月にスタートした。市が建物を建て、運営は、地元約50人で組織する久木野地域振興会が行つている。館長は全国公募で選ばれ、久木野地域振興会が雇い入れている。そのほか、地元の女性たちがパートで勤め、全国から訪れる若者がアルバイトとして手伝つたり、地元農家がインストラクターや草刈りなどを担当し、協力体制をとつてている。

宿泊や休憩だけでも可能。宿泊1部屋（10畳、14畳の2部屋）1時間150円（人数不問）、宿泊の場合は、布団代、風呂代が加算され、食事は自炊。レストランでは、地元ざるそば、タイの激辛フレーが味わえる。

「将来的には、田んぼの作業請負をやっていきたい」と沢畑館長は話す。愛林館は、地域に根ざしながら外部者を招き入れることで、都市部からの労働提供を一つの体験メニューにすることができた。それによって両者にメリットが出、経済効果が生まれたモデルといえる。

棚田のある地域へ出かければ、小さな集落全員で一丸となつて民宿や食堂を運営したり、地域ぐるみで交流施設を支えるなど、地域を元気にしようとがんばっている、おとうちゃん、おかあちゃんたちがいます。さあ、秋の実りと新米を食べに、地域への取り組みを知りに棚田地域へ出かけてはいかがでしょうか？ おかあちゃんたちの笑顔、手づくり料理に心が和むこと請け合いです。

熊本県矢部町 菅

鮎の瀬交流館（加工・食堂）

所在地：〒881-2011 熊本県上益城郡
菅部町大字菅

問：鮎の瀬交流館
TEL：0967-72-4061

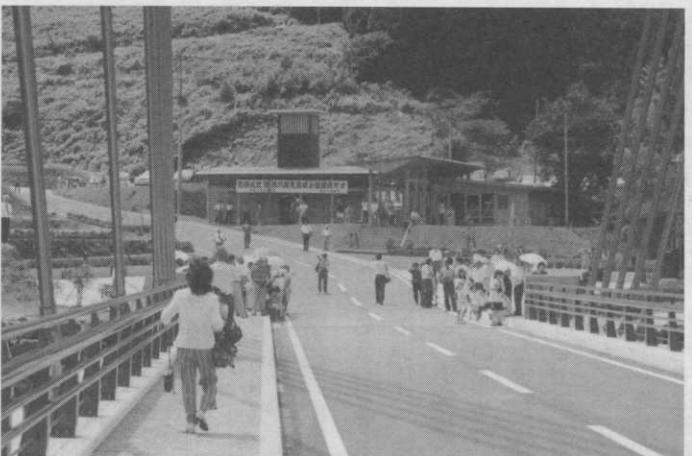
地域悲願の橋がかかって、多くの人がたずねる地域に

秋、見事な紅葉に包まれる熊本県矢部町菅地区、鮎の瀬渓谷。いま、この紅葉や美しい棚田を見ようと多くの人々が、1999年8月にできた「鮎の瀬大橋」を渡って、菅地区にやってくる。水面から高さ140m、長さ400mの「鮎の瀬大橋」は、深い渓谷によつて町の中心部から隔てられた菅地区の人々にとって悲願の橋だった。

橋の完成にあわせて建てられたのが、地区の物産所であり、食堂も兼ね備えた「鮎の瀬交流館」だ。運営は、町から全面委託を受けている「菅地区振興会」である。会は、40年ほど前にダム建設予定地調査が入ったことをきっかけに地域活性化を目的として、集落全90戸で結成されて以来、地区的活性化を図り、棚田オーナー制度である「迫田オーナー制度」にも取り組んできた。

交流館では、地元のとれたて野菜をはじめ、地区のおかあちゃん方14名の「山里の会」がつくる「おからのコロッケ」、まんじゅう、梅干しなど加工品が並んでいる。なかでも「おからのコロッケ」は格別。この地区のおからは、おからといつても豆腐の搾りかすではなく、そのまま大豆をすりつぶした郷土の味だ。予約をすれば、このおからを使う郷土料理「かすよせ」（おから、鶏肉、かぼちゃ、米な

橋を渡つて、人々で賑わう菅地区。交流館のお客さんは、県内がら割以上という。



長崎県波佐見町 鬼木

波佐見農産物鬼木加工センター（加工）

所在地：〒859-3111 長崎県東彼杵郡
波佐見町鬼木郷990-5

問：鬼木加工センター
TEL：0956-85-7416

現在は「鬼木棚田協議会」も誕生

1993年に建てられた「波佐見農産物鬼木加工センター」は、長崎県の補助を受けて町が建物をつくり、鬼木集落が管理運営を行つていて。鬼木は、約70戸のうちの多くが農家という山間部の農村地帯で、地区内には棚田22haが耕作されている。加工センター建設の契機は、県の村づくり推進事業の一つとして、集落での加工に取り組んだことという。

現在、加工センターでは地区のおかあちゃん4人が働き、味噌や味噌漬け、豆菓子、ぼん菓子、ドーナツなど菓子類もつくり、JAの販売所等に卸している。もちろん、加工センターが開いているときは、ここでも買うことができる。

現在、鬼木集落は、「日本の棚田百選」

に選ばれたこともあり、直接支払制度の交付金の半額を集落でまとめて、昨年から「鬼木棚田協議会」を立ち上げ、そこで棚田保全や地域活性化を図りはじめた。

鬼木棚田協議会が、昨年から取り組んでいる「鬼木棚田まつり」。彼岸花に包まれる棚田の稻穂をみんなに見てもらおうというねらいだ。今年第2回目が9月23日（秋分の日）に行われる。枝豆収穫祭、棚田ウォーキング（先着60名まで）、案山子コンテスト（申し込み9/18まで）（参加費はそれぞれ500円要）。さらに里芋里親農園収穫祭もあわせて行われ、棚田感謝祭としてシシ汁（限定500杯）サービス、農産物市場、手作り豆腐実演、枝豆会食など盛りだくさん。問い合わせ・申し込みは、鬼木棚田協議会（波佐見町役場内）TEL：0956-85-21



鬼木加工センターの前で、鬼木集落のおかあちゃんたち。



鬼木棚田のイメージキャラクター。「鬼」と「おにぎり」を使って、「おにぎり（鬼木）」を視覚的にもインパクトのあるキャラクターでPRしている。

福岡県浮羽町

葛籠

四季の舎ながいわ(物産・食堂)

所在地：〒819-1413 福岡県浮羽郡
浮羽町大字新川長岩
問：四季の舎ながいわ
TEL：094377-6464

棚田おこしは、なんたつ
「棚田米」と「水」と「そば」で！

そばづくり。このそばが人気の「棚田そば御膳」のざるにのる。



日本棚田百選つづら棚田入口に、山村交流施設「四季の舎ながいわ」が平成十一年にオープン。周辺は、奇岩・巨岩に囲まれ、新緑と紅葉の美しい山村です。ここでは、地域の食材と特産品を生かしたレストランと農村での体験を楽しむ体験工房を開いています。棚田でとれるお米のおいしさは格別で、新米はおかずはいろいろいくらいおいしいと評判です。また、そばは、秋に、黄色い稲穂の棚田の中に、減反のため植えた白いそばの花がやさしい空間を醸しだしてくれます。農村で食べる手打ちそばは、また格別です。水と空気のおいしさ、農村の情緒ある景観がおいしさを倍増させてくれています。水は、汁物、煮物、炊飯、冷水などいろいろな所で使われますが、このおいしい田舎の水がレストランの味を陰で支えてくれているようです。「水がおいしいですね。」とよく言われますが、これは農村の環境を改めて誇りに感する瞬間でもあります。そば料理は、手打ちそばの他に、そば米雑炊、そばとうふ、そばみそがあり、こだわりの田舎の味を提供しています。メニューには、地鶏の石焼き、山菜てんぷら、山菜盛など、山菜らしさを加え、都市住民にたいへん喜ばれています。「いいところですね、おいしかったです。また来ます。」と言わると、

作っているおばちゃんたちもほっとする毎日です。田舎に来ていただいたら、田舎流のおもてなしをしようと、お客様と心ふれあいながら、「これがいいですよ。」「どんづまりハウス」とはよく名付けたものだ。どんづまりハウスのある鳥越集落は、岩美町のなかでもどんづまりの地区。山の奥の集落からは人が出ていくばかりで、45戸あった家もいまでは16戸になってしまった。農業振興を中山間地域の活性化から着手したという鳥取県の後押しによって、どんづまりハウスが建てられた。

「ここは山菜が多いところやからね、最初は加工所やる話やつたんですよ。それが、いつのまにか食堂になつて……（笑）。うれしいことに、こんな“どんづまり”でも人が来てくれるんですよ。地元の小学生も歩いて、山の奥まで来てくれて、「おしゃかつた」なんて手紙も書いてくれて」。壁には、子どもたちからの手紙が貼つてあった。

地場で採れる山菜をふんだんに使った山菜料理がここの中食のメニューである。周囲にあるのは山とわずかな田んぼばかり。それでも、くねくねと山道を登つて

どんづまりハウス(食堂)

所在地：〒689-0033 鳥取県岩美郡
岩美町鳥越
問：どんづまりハウス
TEL：0857-76-0221

かわいいおかあちゃんの
笑顔が最高！



人々は食事に何度も訪れるという。人気の秘密は？とたずねると「サービスしてサービスするからねえ」と大笑い。損得を考えずに、山盛りにしてしまうのとか。そんなサービスもうれしいうえに、食事もうまい。厨房に引っ込んでいると、お客様も「まあ、そっちおらんと、こつち来て話しゃ～」などとおかあちゃんととの会話を楽しみにしている。

基本的にオープンは、土日と予約時のみ。正月、5月連休、お盆はお休みとなる。さらに雪が積もるとお休み。人気の山菜定食は、2~3日前には要予約のこと。

愛媛県内子町 石畳地区

石畳の宿（宿泊・食事）

所在地：〒799-3343 愛媛県喜多郡内子町石畳2877
TEL：0893-44-5730

「水車米」が食べられる

愛媛県内子町石畳地区（5集落、約130戸の地区）に「石畳の宿」がオープンしたのは、1994年のこと。1987年に地元住民12名で組織する「石畳を思う会」（現在27名）の発足が、その出発点となつた。1990年には地元で一人5万円の支出をして「水車小屋」を復活させるなど地域活性化を進めてきた。そんな石畳地区であつたからこそ、宿をつくることができたという。農家を移築し、地元の女性たち10名がスタッフとなり、地元の味を食べてもらい、ゆつたりと過ごしてもらう農村体験宿泊施設「石畳の宿」が誕生した。町営の施設ではあるが、地元の力なく

してはありえない。素朴なおかあさん方の温かなもてなしにリピーターが多い。最近は、地元の法事や同窓会などにも利用され、地域にも密着してきた。食材は地場産。お米は、もちろん棚田米だが、朝ごはんは「水車米」が出される。「水車米」とは、棚田米を2～3晩かけて水車でついて精米したお米。薰り高く好評だ。もちろん、宿でも販売している。宿泊料金は大人で、1泊5000円（1室1人利用）、2人以上4000円。夕食2200円、朝食1000円。

11月3日には、10年目を迎える「水車まつり」がある。ただし、宿で働くおかあさん方全員「水車まつり」に総動員のため、宿はお休み。

新潟県高柳町 萩ノ島 門出

萩ノ島かやぶきの里（休憩・宿泊）

わい深い。

新潟県高柳町では、2集落において宿の運営がなされている。その一つ、萩ノ島集落は、40戸ほどの家々が、田んぼを囲んで丸く建つ「かやぶき環状集落」だ。1992年、新たに2棟、かやぶきの家が建てられ、貸別荘風に建物ごと利用してもらう宿「萩ノ島かやぶきの里」がスタートした。宿のおかあちゃん中西ユリイさんが、なつかしい味を山盛りで出してくれ、いろいろの火を囲んでの会話も味

してはありえない。素朴なおかあさん方の温かなもてなしにリピーターが多い。

最近は、地元の法事や同窓会などにも利用され、地域にも密着してきた。食材は地場産。お米は、もちろん棚田米だが、朝ごはんは「水車米」が出される。「水車米」とは、棚田米を2～3晩かけて水車でついて精米したお米。薰り高く好評だ。もちろん、宿でも販売している。宿泊料金は大人で、1泊5000円（1室1人利用）、2人以上4000円。夕食2200円、朝食1000円。

11月3日には、10年目を迎える「水車まつり」がある。ただし、宿で働くおかあさん方全員「水車まつり」に総動員のため、宿はお休み。



【萩ノ島かやぶきの里】所在地：〒945-1512 新潟県刈羽郡高柳町大字萩ノ島

問：おぎのしまふるさと村組合 TEL:0257-41-3252

料金：1棟あたり〈萩ノ島〉宿泊25,000円（9名）／〈島ノ島〉宿泊18,000円（6名）／休憩どちらも昼間1時間2,000円 夕食1人2,000円、朝食1,000円



【門出かやぶきの里】所在地：〒945-1513 新潟県刈羽郡高柳町大字門出

問：門出かやぶきの里 TEL:0257-41-3370

料金：1泊2食大人6,800円 小学生5,500円 素泊まり1人4,000円／貸し切り1棟（定員15名） 1泊基本料25,000円、寝具1人1,000円／昼食2,500円～

高知県梼原町 神在居

カントリーハウス（宿泊・交流施設）

所在地：高知県高岡郡梼原町神在居
TEL：0889-65-1111

千枚田のなかの交流施設

神在居の千枚田の真ん中に建てられた「カントリーハウス」は、少々大きめの平屋の1軒屋である。1991年にはじまつた「千枚田オーナー制度」を機に、宿泊施設や休憩所の必要性から建てられた。管理運営は、約10戸の神在居集落全員がメンバーとなつて「千枚田ふるさと会」だ。

利用は千枚田オーナーに限らず、申し込れば、だれでも1人目1泊3500円、2人目からは1500円（オーナーはさらに格安）で利用できる。施設には、家庭用の風呂や台所が設備されており、自炊が可能だ。車で約5分程度のところに

「雲の上温泉」やレストランなどもあり、そこにある産直市場で野菜等の購入もできることをおすすめする。



六夜山荘(宿泊)

所在地：〒943-0401 新潟県東頸城
郡安塚町大字細野
問：六夜山荘
TEL：02559-2-2698

かあちゃんがんばれば
とうちやんふんばる

今日もおかあさんたちの手作りの味に
力がこもる。ここは、集落戸数25戸、高
齢化比率50%という典型的な人口減少が
続く農山村である。ここは住民いわく、
協力性、行動力、元気は1番と胸をはる。

なぜ、やる気になつたのか

今から18年前、まだ高度経済成長の絶
頂期で高齢化率も低く若者がまだたくさ
んいた時代だが、10年後、20年後自分た
ちの将来はどうなるのだろうとみんな内
心思っていた。丁度そのことと相まって、
酒を呑みながら楽しい集落を創ろうと壮
青年、熟年が集まりクラブを結成し、行
事の復活や先進地視察、よなべ談義がは
じまつた。

いまでも続く夫婦同伴の視察研修は、
人それぞれに刺激になり、さらに潜在的
将来像はたかまつていき自分たちのやる
気をおこすキッカケになつたのである。

自然王国ほその村の誕生

新しい農村の活性化は農村と都会の人々
を結びつけることも一つの手法と198
9年(平成元年)「自然王国ほその村」を
誕生させ「みどりのほその春の祭典」を
企画実践。集落総動員による手づくりイ
ベントである。雪消えとともに若葉が萌
る5月はじめ幾日も前からの準備も整い、

山菜採りをメインにおかあさんたちが作
った山菜弁当、子ども会が作るだけのこ
汁、あの男衆はガイドや進行などなど、
交流は今もつづいている。

六夜山荘の運営

交流やコシヒカリオーナー、田舎体験
の受け入れが年々盛んになつてもつとゆ
つくり過したいという要望が来訪者から
寄せられ、力を辞して1996年(平成
8年12月)集落運営(独立採算)の「六
夜山荘」の誕生である。その中心となる
のが「おかあさん」たちの手づくり料理
のもてなし。家庭やふるさとの味その
ままで心が休まる。六夜山荘には、女将
さんが一人、副女将2人あとは10数人の
輪番制。お父さんたちは宿直や布団敷き
外仕事などで役割分担はうまくいってい
る。(1泊6500円)

かあちゃんの家

1990年(平成2年)おかあさんた
ち5人でゆりの根グループを結成し、野
菜の生産販売、産直、加工に挑戦、そし
て、産直先との体験交流とますます自信
と仲間意識が高まつた1994年(平成6
年12月)地元の材料を使ってイベントなど
で売っていた「手づくりだんご」が好評
であり「笹だんご」「山菜おこわ」「赤飯」
の年間稼動をする「かあちゃんの家」を

新築した。毎日六夜山荘とのかけもちで、
製造が間に合わないそうである。問：T

E&FAX：02559-2-3305
この他に、じいちゃんたち5人が同じ
年に木工品を創る「工房ほその村」を建
てまだまだ若い者には負けられない」とが
んばっている。平均年齢74歳。

まさにこの集落は全員で集落を運営し、
他力ではなく自力で行動をしていること
のすばらしさとおかあさんたちのパワー
である。そして男も女ももちろんたれぬ
関係なのである。

(安塚町助役 丸山 新 細野集落在住)
「石垣の村戸川 棚田まつり」での神楽奉納。周囲にはれんげが咲き誇っている。

地域が支える交流・体験施設

そのほか棚田地域のなかには、地元に支えられた行政や第3セクター経営の施
設もあります。いくつか紹介します。

宮崎県日之影町 戸川

所在地：〒885-0200 宮崎県西臼杵
郡日之影町戸川
問：石垣茶屋
TEL：0982-87-2295

宮崎県日之影町のなかでも、ひときわ
美しい集落、戸川集落は、石垣の棚田、石
で組まれた蔵など「石垣の村」として親

しまれている。そこを訪れる人たちの休
憩所「石垣茶屋」は、宿泊施設も整う。
ここは経営は、町の第3セクターの日之
影町村おこし総合産業(株)だが、管理人は
戸川集落のおかあちゃんが務めている。

和室2部屋と多目的ホールがあり、会議
や集会にも利用できる。宿泊は部屋使用
料1泊1人1900円、寝具1100円。

戸川は、7戸と小さな集落だが、全戸



まさにこの集落は全員で集落を運営し、
他力ではなく自力で行動をしていること
のすばらしさとおかあさんたちのパワー
である。そして男も女ももちろんたれぬ
関係なのである。

佐賀県西有田町 岳たけ 棚田の里(体験・交流施設)

所在地：〒849-4102 佐賀県西松浦郡西有田町岳谷24214-71
問：西有田町産業活力課TEL：0955-46-5613

田オーナー制度に取り組んできた「岳信太郎棚田会」からも7人が参加している。

佐賀県西有田町岳地区に、地元待望の交流施設「棚田の里」が、この夏完成した。7月29日(日)には、落成式が行われ、棚田保全・地域活性化に向けてますます拍車がかかっている。管理運営は、



上が「棚田の里」。下は農機具倉庫&トイレ。眺望の良さも魅力だ。

岳地区の18戸で組織する「もみじ村」。棚田オーナー制度に取り組んできた「岳信太郎棚田会」からも7人が参加している。今回、建物だけを建てたのではない。

6haの広さに体験農園、駐車場、農機具倉庫などを完備し、さらに周囲の農地も整備し「ふれあい公園」(1ha)として、地区あげての農村公園「国見棚田公園」を誕生させたのだ。現在「もみじ村」によるそばと大豆のオーナー制度も行われ、棚田米オーナー(体験型と出資型が有)とともに、都市からより多くの人を招き入れる体制が整つてきていた。

「棚田の里」には、農作業のあと汗を流すシャワー室や交流室などがあり、体验メニューには、炭焼き、陶芸(ろくろ)なども用意している。すでに5月には、韓国からの車いすマラソン大会参加者の田植え体験や6月には九大短期留学生、西有田中学生なども迎え、さらなる交流活性化が期待できそうだ。

三重県紀和町 丸山 千枚田荘(宿泊・休憩)

所在地：〒519-5400 三重県南牟婁郡紀和町丸山2555-6
問：紀和町ふるさと公社(千枚田荘) TEL：05979-7-0640

~10月の土日祝には、軽食もあり、千枚

ばかり。にこやかに迎えてくれる。

~10月の土日祝には、軽食もあり、千枚

田のなかに建っている。小さな田んぼが1000枚以上山の斜面に連なる三重県紀和町丸山を散策するにはもってこいの場所だ。素泊まり大人1泊4000円(オーナー1000円)、小人2000円(オーナー500円)。朝食夕食は、宿泊時に相談のこと。会議室としても利用でき、4

田定食(めはりすし+山菜うどん)が評判。8月上旬には、流しそうめんなど風情あるサービスも楽しめる。運営は、町の第3セクター、紀和町ふるさと公社で、梅や味噌、高菜、山菜、きじ肉などの加工も地元のおかあさん方と手がけている。公社のスタッフも気さくで温かな人たち

徳島県上勝町 月ヶ谷温泉(宿泊・キャンプ場)

所在地：〒771-1401 德島県勝浦郡上勝町福原
問：月ヶ谷温泉 TEL：08854-6-0203

徳島県上勝町は、人口2300人ほど
の町だが、町が主体となつてつくった第
3セクターが5つもある。そのなかの一
つ、「株式会社みかづきゆうが運営する都
市農村交流センター「月ヶ谷温泉保養セ
ンター」では、キャンプ場で5月に「彩恋
鯉こいまつり」などを開催しているが、こ
うしたイベントは、地域の人たちによる
草刈り、わらぞうり体験インストラクタ
ーをはじめ、地域の協力なくしてはでき
ない。そのほか、小学校の建物跡地を利
用した、山村の自然体験・農業体験(棚
田、森林ボランティア、番茶製造体験)
などができる「自然の宿あさひ」では、
棚田体験ツアーも実施している。

月ヶ谷温泉は年間22万人も人が訪れる、
地域食材を使った料理が喜ばれている。
宿泊大人1泊2食8000円。上勝の
特産品の一つ「棚田米」も販売中だ。

新潟県大島村 あさひ地区 庄屋の家(宿泊・体験施設)

所在地：〒942-1102 新潟県東頸城郡大島村
大字田麦1096-2
問：庄屋の家 TEL：02559-4-3848

新潟県大島村、かやぶき屋根の大きな
民家を利用した「庄屋の家」は、さまざま
な体験メニューが楽しめる村営の農村
体験施設だ。あさひ地区振興協議会が地
元で組織され、周辺の環境管理やスタッ
フとして協力体制をとっている。

「名人」と呼ばれる体験の先生は、地元の
おとうちゃん、おかあちゃんたちの腕の見
せどころ。わら細工、竹細工、アケビのつる
細工、手打ちそば、あんぶ(米粉利用のだ
んご)づくり、のつペ汁づくりなどをはじ
め、農作業体験、自然体験、雪国体験などが
楽しめる。体験料は5000~20000円程
度。別途名人料(インストラクター)が必要
(4000円/人)。団体利用の場合、割引
有り。名人たちのやさしい声かけと手ほ
どきに、だれもが心うち解けて、忘れられ
ない思い出をつくつて帰ることができる。

宿泊は、宿泊棟に1人1泊3000円
(団体割引有)、夕食2000円、朝食70
0円。体験棟(かやぶき民家)使用料4時
間以内は3000円。最近では農家の家
に泊まる民泊も行つていて。

さらに大島村仁上地区では、数年前か
ら「ほたるの会」が組織され、耕作放棄
地を利用して「ほたるの里」を整備し、
ほたるのシーズンには、会のメンバーが
ボランティアガイドを担当して「ほたる
まつり」が開かれ、山間の静かな夏の夕
べに小さな灯りを灯している。

第1回相知町「早苗と棚田」ウォーキング 約1000人が棚田を歩いた!!



さる6月17日(日)、佐賀県相知町において、第1回相知町「早苗と棚田」ウォーキングが開催された。JR相知駅近くをスタートし、棚田を潤す平山川沿いに15km、上流めがけて蕨野の棚田のなかを地元小学生ら81名を加えた計954名が歩きに歩いた。棚田でのウォーキングは全国でもはじめてのこと。

町は「美しい自然を守つて農業と観光を盛んにしよう」と新世紀に掲げる町政の第1弾として、今回の企画を練った。「実際に蕨野の棚田を都市部の方に見ていただきたい」という願いからウォーキング大会を開くことにし、地元蕨野地区で実行委員会を結成し、地域総動員で大会の成功を導いた。

蕨野地区は、40ha1050枚の

石積み棚田が見事なところ。参加者もその光景に驚き、アンケートでは9割以上が「すばらしかった」と回答。それ以上に、コース途中9カ所に用意された地元の麦茶接待など、温かなもてなしに「きつかったけれど接待がよかつた、また来ます」「至れり尽くせりのお世話をいただき、最後のスイカなどはなんともいえませんでした」

そんな言葉を残している。昼食に出した地元棚田米のにぎりめしも大好評だった。

実行委員会委員長、居石政宏蕨野区長は「地元のみなさんも自分から草刈りをしたり、若い人がこんなによけいおったかと思うほど、多くの人が出て手伝ってくれました。しかも若い方で『もう田んぼ



に杉植えれんなあ』なんていってくれたり。参加者の方々からは『こんなすばらしいものは初めて見た』ついわれて……。昔の人が苦労されたことがようやくいま、報われたとですね。お盆には里帰りされる仏様に向かってお札をいわんばならんと思うちります」。

この秋、蕨野地区では地元の棚田米「蕨野」(5kg2800円/kg5500円)・中山義次 55-624748を売り出す。ウォーキング大会で予約をとったところ、約80人から1000kgを超える申し込みがあった。人とのつながりを大切にしながら、棚田米の販売、また近々、蕨野の棚田を「棚田観光農園」として整備していく予定である。町の農林観光課の担当者、岩本英樹氏のこと町長自らが「棚田係長」と命名するほど、いま相知町の棚田保全活動は熱く、大きなねりを生みはじめている。ご注目あれ!

棚田ライステラスの創刊号から21号までが総集編として販売(一冊千円。送料込み)されています。

購入される方からは、「貴重な記録資料になる。いろいろなデータ、実施例がまとまっている。小さな情報から大きな情報までバラエティーに富んで、おもしろい。」と好評です。問:全国棚田(千枚田)連絡協議会事務局 福岡県浮羽町情報振興課 TEL:09437-7-72111 FAX:09437-7-7820

棚田ライステラス総集編

事務局 ニュース

事務局、福岡県浮羽町からのお知らせコーナーです。

事務局までお知らせください。

情報をご提供ください

前号で「小さな小さな棚田の活用法を知りませんか」「棚田が生んだ名産品を知りませんか」「棚田を守るアイデアを教えてください」など募集掲載しましたが、今のところご連絡はありません。事務局でもいろいろな情報を集めて、全国の会員皆様にいい情報を提供したいと考えています。ぜひご協力ををお願い致します。

雜記帳

前号の「中山間地域等直接支払制度導入! その現場から」が特集されました。全国の自治体の取り組みの様子と新制度の課題が掲載されました。棚田保全に向けて導入された制度であり、ぜひいい制度になつてもういたいと願っています。昨年は導入年、今年2年もっとくわしい状況がわかつてくると思います。この制度のい

い活用事例がありましたら、ぜひ前号22号はいかが?

前号の「中山間地域等直接支払制度導入! その現場から」が特集されました。全国の自治体の取り組みの様子と新制度の課題が掲載されました。棚田保全に向けて導入された制度であり、ぜひいい制度になつてもういたいと願っています。昨年は導入年、今年2年もっとくわしい状況がわかつてくると思います。この制度のい

い活用事例がありましたら、ぜひ前号22号はいかが?

農林水産省、文部科学省、環境省合同で棚田の調査行われる

農林水産省農村振興局農村整備課 整備第2係 阿久津 孝夫

棚田地域等は、美しい景観を有し、多様な生態系や自然環境が残されており、週休2日制に対応した子供達の体験活動の場、動物や植物などの豊かな自然環境とのふれあいの場、都市住民による農作業体験の場としての活用が、期待されています。近年、棚田オーナー制度等地域の特徴を生かした体験活動による活性化を開拓している地域が各地で見られるようにならざりましたが、今後他の地域に活動を広げるためには、地域資源としての棚田を体験活動の場として有効に活用する方策を検討する必要があります。このため、農林水産省文部科学省、環境省では平成12年度に3省連携により、棚田地域等を立地条件や保全活動内容等により類型化し、それに応じた体験活動による推進方策の検討を行い、活性化指針を提案することを目的に「棚田地域等の多面的機能を活用した体験活動による地域活性化推進調査」を実施しました。

調査では、既に体験活動を実施している棚田地域を対象にして、対象者や活動内容、時期、立地条件などについてのアンケート調査及び現地実態調査と体験活動プログラム事例の収集を行いました。その結果、棚田地域には、生態系保全機能・歴史文化保全機能・レ

棚田学会シンポジウム「価値あるもの・棚田」開催

さる8月5日(日)日本橋三越劇場において、棚田学会シンポジウム「価値あるもの・棚田」が開催され、会場には200人ほどが集まり、熱心に議論を交わしました。

東京農工大学教授・棚田学会理事 本シンポジウムコーディネーター 千賀 裕太郎

クリエーション機能など体験活動の実践において優れた資源性を持つことが把握されました。また、棚田を活用した体験活動を実践することで、都市との交流が発展するとともに、棚田保全に向けた国民的合意形成の進展が期待できることが明らかになりました。

また、文部科学省及び環境省では、

環境教育・学校教育・生涯学習・自然体験という観点での棚田を舞台とした体験活動の実践のために、活動プログラム・参加者募集方法・指導者養成法等を示した実践プログラムなどを提案しました。農林水産省では、体験活動の内容と地域条件を勘案した活動類型ごとに、文部科学省環境省により示された実践

本シンポジウムでは、違った角度から棚田の価値を試算化した2つの報告と、外国人の目から見た棚田の評価の報告をお聞きした。

真島俊一氏(TEM研究所長)は、棚田を造るのに何人が何日かかったかを、現代の労働コストに置き換えて試算化、対象は白米千枚田(石川県輪島市／土坡)と丸山千枚田(石川県紀和町／石積)。石積みの棚田は土坡に比べ、造る作業コストはかかるが、土坡の場合は毎年塗り替えることと石積みと同じくらいのコストがかかるとした。

これに関して、会場から「災害時のメンテナンスコストは?」「機械施工の場合は?」といった質問が出た。真島氏は金額評価というより投

入、地域性などで評価が大きく違

条件整備手法を提案し、今後体験活動を計画している地域への具体的な展開方策を示しました。

さらに、調査の一環として、体験活動の意義と効果等を広報・啓発することを目的として3月9日(金)に、「棚田での体験活動シンポジウム」を東京大学農学部弥生講堂一

条ホールにて開催いたしました。大谷峰広教授が「棚田での農業体験と地域活性化」と題して基調講演を行いました。江町、小学生が年間を通して農作業を行っている新潟県安塚町、地域に根付いたNPOとして、周辺はもとより全国から子どもを受け入れ自然環境教育を実践している鹿児島県栗野町の事例が報告されました。質疑応答では、中島教授や事例報告者と会場との活発な議論が交わされました。

本シンポジウムでは、違った角度から棚田の価値を試算化した2つの報告と、外国人の目から見た棚田の評価の報告をお聞きした。

吉田謙太郎氏(農林水産省農林水産政策研究所評価・食料政策部主任研究官)は、棚田に関する仮想市場における価値評価であることを確認せざるを得ないのではないかと思われた。環境に対する金銭評価は大変難しく、一つの手法として興味深いものであった。

最後にあん・まくどなるどさん(宮城大学特任助教授)からは、まず、一

つてくるのではないかという指摘である。ここで評価は、限られた地域・条件下における、その人にとっての価値評価であることを確認せざるを得ないのではないかと思われた。

吉田謙太郎氏は、棚田に関する仮想市場における価値評価であることを確認せざるを得ないのではないかと思われた。環境に対する金銭評価は大変難しく、一つの手法として興味深いものであった。

最後にあん・まくどなるどさん(宮

城大学特任助教授)からは、まず、一

つてくるのではないかという指摘である。

会場から、あん・まくどなるどさ

んに棚田オーナー制度は英語ではど

う訳せばよいかの質問に、オーナー

シップよりもパートナーシップが良いと回答、都市と農村の交流の重要性を指摘した。

吉田氏への質問は多く、なかでも「(二次的)自然そのものへの総合的な評価にはならないのではないか」という疑問が出された。つまり、アンケートに答えた人の認識の違い、

信すれば、世界に棚田の価値をPRできると述べた。この点で徳島のNPOのホームページは優れていると紹介した。

美しいイメージが発信されており、

こうした情報を日本でも積極的に発

信すれば、世界に棚田の価値をPR

できると述べた。この点で徳島のN

POのホームページは優れていると

紹介した。

美しいイメージが発信されており、

こうした情報を日本でも積極的に発

信すれば、世界に棚田の価値をPR

できると述べた。この点で徳島のN

POのホームページは優れていると

紹介した。

第7回全国棚田(千枚田)サミットニュース

2001年8月31日(金)~9月1日(土)石川県輪島市
テーマ:水と心のダムサイト

基調講演には評論家の富山和子さんを迎え、パネルディスカッションでは、白米千枚田にゆかりのある方々が多方面から顔を揃え、ユニークなディスカッションが期待されます。

また、今回のサミットでは、素晴らしい千枚田を舞台に輪島市白米地区スタイルの結婚式が行われます。全国公募のなかから選ばれた3組が、サミット参加のみなさんの前で人前結婚式を挙げます。白米ではむかしから、集落に入ってくる新郎新婦の通り道を縄で通せんぼする「縄張り」というしきたりがあります。これは、新郎新婦をよく見るなどの理由からだとか。今回も新郎新婦が通る道に、地元の方々が縄を張り、そこでのユニークなやりとりを楽しめます。お楽しみに!!

<開催スケジュール>

■8月31日(金)

9:00~ 9:50	全国棚田(千枚田)連絡協議会理事会	文化会館3階
10:00~12:00	全国棚田(千枚田)連絡協議会総会・首長等会議	文化会館3階
12:00~12:50	昼食	
13:00~13:30	サミット開会式	文化会館大ホール
13:30~15:20	基調講演 富山和子さん(評論家)	文化会館大ホール
15:30~17:00	パネルディスカッション	文化会館大ホール
	コーディネーター:村田 武さん(九州大学教授)	
	パネラー:富山和子さん(基調講演者)	
	早川芳子さん(会議通訳者)	
	田中喜義さん(千枚田景勝保存会長)	
	梶 文秋さん(輪島市長)	

18:00~ 交流会

■9月1日(土)

10:00~12:00	市内視察	
12:00~12:50	昼食	
13:00~15:00	千枚田結婚式	
15:00~15:10	共同宣言採択	千枚田特設ステージ
15:10~15:20	閉会式	千枚田特設ステージ
		千枚田特設ステージ

問:石川県輪島市役所 漆器観光課 TEL:0768-23-1146

現在、2003年の全国棚田サミット開催希望を出している岐阜県恵那市で、さる7月16日(8月4日まで「悠久の棚田写真展」)が開催された。これは観光案内所タウンプラザ恵那のギャラリーに、恵那の棚田の大型写真パネルを常設展示することにあわせ、全国棚田サミットへの気運をつくつていこうと、恵那市観光協会が企画したもの。会場には、地元写真家、下島弘行氏による恵那の棚田写真のほか、全国有数の棚田の写真も展示され、広く市民に棚田をお披露目した。

Topics

岐阜県恵那市で 棚田写真展開催



●「ふるさとの水と土体験展」
「五感で遊ぶワンダーランド
秋の収穫祭」
10月30日(火)~11月4日(日)開催
全国土地改良事業団体連合会、
都道府県土地改良事業団体連合会
主催で「ふるさとの水と土体験展」
が、東京日本橋三越本店で10月30日~11月4日まで開催される。都
会に「田んぼ」と「ふるさと」を
出現させ、春から秋までの自然の
循環とそこに生きるさまざまな生
きものたちの世界を伝える。「ふ

るさとの田んぼと水」子ども絵画
展2001も同時開催。入場無料。
問:全国土地改良事業団体連合会
TEL:03-3234-5480

●栃木県茂木町
棚田写真を募集中!

栃木県茂木町では「美しい茂木
町の棚田」をテーマに、四季折々
の町の棚田の風景写真を募集中。
四つ切りカラープリント(人物が
撮影されている場合、本人の了承
を得ること)で、作品受付は10月
15日~11月7日。賞品は棚田米。

問:茂木町農林課
TEL:0285-63-5634
問:南日本新聞開発センター
TEL:099-225-6854

本協議会会員である鹿児島在
住の写真家佐藤真一氏が、7年間
の歳月をかけ、九州7県33カ所の
棚田の写真をまとめた写真集「九
州の棚田」が8月11日発行された。
棚田保全運動と共に鳴り、写真家の
立場から活動を続けてきた佐藤氏
だが、突然難病に見舞われ、活動
不可能な状態となり、現時点で一
冊にまとめたという。

問:南日本新聞開発センター
TEL:099-225-6854
月25日発行された。問:棚田学会
事務局 TEL:042-381-6721
本体価格:2000円

棚田の保全・中山間地域活性化のための全国組織 会員募集中

会員募集中

全国棚田(千枚田)連絡協議会

お申し込み・お問い合わせは協議会事務局

福岡県浮羽町 情報振興課

〒839-1497 福岡県浮羽町朝田582-1
TEL:09437-7-2111 FAX:09437-7-7820

●「日本の原風景・棚田」第2号
発行:棚田学会
棚田学会の学会誌の第2号が7月25日発行された。問:棚田学会
事務局 TEL:042-381-6721

新しく会員になったみなさま

賛助会員 内田晴夫(徳島県)

編集後記

棚田地域の集落で運営する民宿や食堂などへ出かけると、小さな集落なのに、高齢なのに驚くほど元気なんですね。「よく来たね~」なんてあたたかな言葉と笑顔に「あ~来て良かったな~」って思うんです。確かに、山道をぐるぐるしながら着くなど、行くのもたいへんかもしれませんのが、わたしもまだお伺いできていませんからフットワークを軽く、旅を計画したいと思っています。さあ、新米の季節が到来です! 棚田米を食べて、おいしい笑顔になりませんか? 情報やご感想をお待ちしています。

石井里津子